２０２４年（令和６年）　　５月６日　　月曜日
デーリー東北　　１５面　掲載

北東北大学野球

北東北大学野球春季リーグ戦第４週第２日は５日、各地で１、２部の計６試合を実施した。１部で首位の八戸学院大は青森中央学院大を11－２の７回コールドで破り、２試合を残して優勝を決めた。八学大は昨秋に続いて２季連続、春秋通じて17度目の頂点。６月10日から明治神宮球場などで開幕する全日本大学選手権の出場権を手にした。

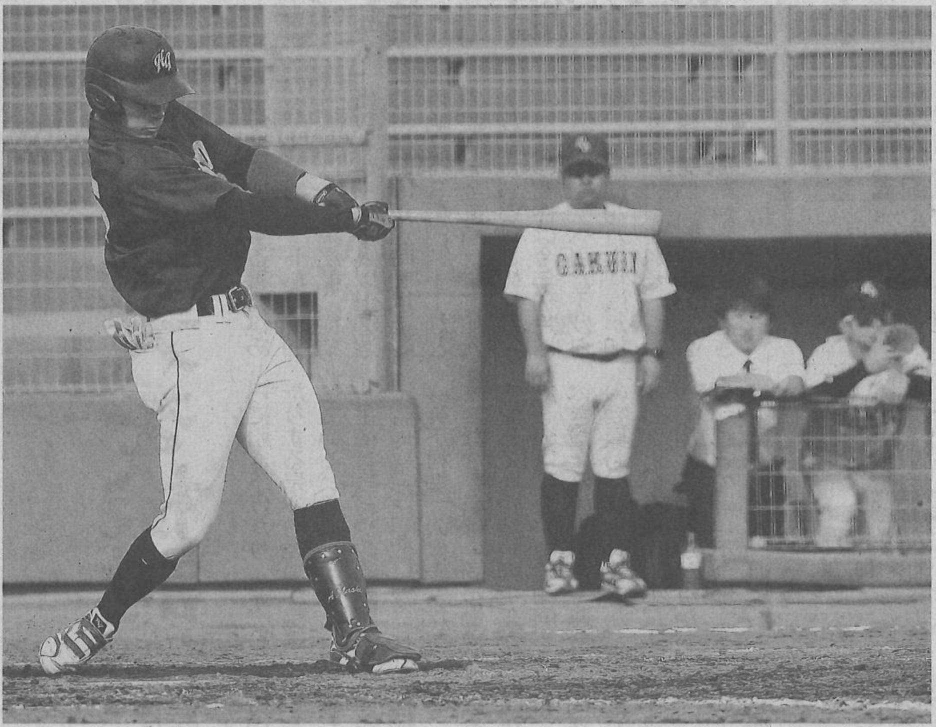
八学大の打線が四回に火を噴いた。先頭の平尾柊翔が二塁打で出塁すると、四死球と連打で３点を奪取。続けて１死満塁の好機で、１番南雅人が左越え本塁打を放ち、この回だけで８点をリードした。

好投していた小林直生は五回につかまったが、加藤響らが救援の務めを果たし、点差を守り抜いた。

第５週は11、12日、各地で１、２部の計６試合を実施する。１部は弘前市はるか夢球場で行い、八学大は２位富士大と対戦する。　（桑田友人）

八学大 打線爆発

大量11点、青中大にコールド


【1部・青中大－八学大】八学大は4回1死満塁で1番南雅人が左越え本塁打を放ち、7－0とする＝青森県営球場

1番南、会心の満塁アーチ

ヒーロー

「みんなが流れをつくってくれて、『行ける』と思っていた」。1番の南雅人が3点リードの四回1死満塁で打席に入ると、会心の一振りで左スタンドへ見事な放物線を描いた。昨秋にリーグ優勝しながら、全国への切符を逃した悔しさを晴らした。

自身も昨秋は活躍できなかった。明治神宮大会の代表決定戦では秋季リーグで2位の富士大に敗戦。「自分もチームも圧倒的に負けた」

冬に体重を増やしつつ、体の使い方の改善に着手。長打も狙える効率的なスイングを模索した。

四回の好機は「相手のスライダーが（ストライクに）入っていなかった」と直球に的を絞った。狙い通りに来たインコースの真っすぐを豪快に引っ張った。

「彼が打つイメージがあった」と新沼舘貴志監督。リーグ4戦目から起用した南の活躍に目を細めた。

残るリーグ戦は富士大との2連戦。南は「最初から全勝しか狙っていない。勝って神宮に行きたい」と闘志を燃やした。　（桑田友人）

【1部】
▽第4週第2日（青森県営球場）
岩手大（1勝7敗）　000200000　2
ノース大（4勝4敗）　00012001×　4
（岩）柴崎、播磨、中野－鳥谷部
（ノ）宮脇－吉川
▽本塁打　佐藤（ノ）
▽三塁打　今野、渡邉（ノ）
▽二塁打＝佐藤（ノ）
青森大（4勝4敗）　0000000　0
富士大（5勝3敗）　412200×　9
（7回コールド）
（青）斉藤、小金井、濱谷、哘崎－中島、鈴木颯
（富）佐藤、中崎－坂本
▽本塁打＝麦谷（富）
▽二塁打＝渡辺陸2（富）
青中大（2勝6敗）　0000200　2
八学大（8勝）　000830×　11
（7回コールド）
（青）小田島、谷木、斎藤禅、阿部、平内－崎野
（八）小林直、島野、加藤－畠山
▽本塁打＝南（八）
▽二塁打＝崎野（青）菊地、平尾（八）

【2部】
▽第4週第2日（二戸町総合運動公園野球場）
秋田大（4勝4敗）　000000012　3
八工大（6勝2敗）　00000001 3×　4
（秋）木村、永井－猿田
（八）渡辺、吉田、鈴木－磯島
▽二塁打＝猿田、石澤（秋）荒川2（八）
青公大（8敗）　0000000　0
弘前大（5勝3敗）　204102×　9
（7回コールド）
（青）波多野、大坂－阿部
（弘）鵜沼、角井－鶴谷
▽二塁打＝小原、木戸、鶴谷、館々沢（弘）

デーリー東北新聞社提供